

・高齢者への外出支援策、地域貢献送迎バスモデル事業がスタート

社会福祉法人等が所有している施設利用者や職員の送迎車両を活用した事業がスタートし、「鎌倉プライムきしろ」と「稲村ガ崎きしろ」の両施設と協定を締結しました。今後は地域や小さなスポットでも良いので事業が広がっていくように取り組んでまいります。



鎌倉プライムきしろ：施設のある関谷から大船駅入口まで行く途中で玉縄すこやかセンターに1日3回経由していただく。

稲村ガ崎きしろ：毎週月曜日13時30分～14時30分に運行し、七里ガ浜東にあるスーパーに買い物きた高齢者を自宅まで送っていただく（事前予約必要。エリアは七里ガ浜東1丁目から5丁目及び稲村ガ崎5丁目）。

※乗車の際には福寿手帳の提示が必要

●鎌倉市LINE公式アカウントの活用について

・LINE公式アカウントの開設（LINE IDは、「@Kamakuracity」）

利用登録の受信設定に「子育て」「健康・医療」「福祉」「広報」の項目を設けており、選択した利用者に講演会やセミナーなどの各種イベント、健診、広報かまぐららの発行などに関する情報を配信している。



・災害時の情報の収集と伝達に活用できないか要望

神戸市では、被害情報をLINEで発信してもらい、届いたメッセージや写真を集約し、災害情報の収集等に活用するための実証実験を始めるなど新たな取組が進んでいます。混乱した状況でも市民から幅広く情報を収集することで、これまで電話やメールまたは現場に行かなきゃわからなかった情報を素早く整理し、市民の避難行動に生かします。災害時のLINEの活用について検討していただきました。

公式アカウントにある『ごみの出し方』では「いつ・どの品目を収集するのか」「品目を入力すると収集日を教えてくれる」など機能があります。また『くらしの手続きガイド』は出生などのライフイベントに必要な書類や窓口の手続き方法を教えてくれる機能となっています。

このようなLINE活用したサービスのさらなる充実を求めました。

住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<https://hinata-shingo.amebaownd.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料

ひなた新聞 36号

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート

1983年6月9日 生まれ（36歳）

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。腰越在住。

〈現在〉観光厚生常任委員会委員長・議会広報委員会委員



●議長・副議長・監査委員、各委員会の委員が決定

6月定例会では、議長・副議長選挙が行われ、高橋浩司議員が12票、久坂くにえ議員が12票を獲得し、同数のため地方自治法に基づきくじ引きが行われ、久坂議員が議長に当選しました。その後の副議長選挙では池田実議員が23票（無効投票1票）を獲得し当選しました。また、議会選出の監査委員には西岡幸子議員が選任されました。

私は観光厚生常任委員会に所属し、委員長を務めさせていただくことになり、議会広報委員会にも引き続き所属することになりました。

●6月定例会で3つの項目について一般質問を行いました

グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合（雨天中止）

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。



☆スケジュール☆

第16回：7月20日

第17回：8月17日

第18回：9月21日

第19回：10月19日

：

●海岸と海中ごみについて

・海岸の堆積した砂の除去と養浜事業の実施

現在、市内の海岸の砂は多い所と少ない所があり、腰越海岸は砂が堆積していますが、七里ガ浜海岸から材木座海岸にかけて部分的に浸食が進んでいます。

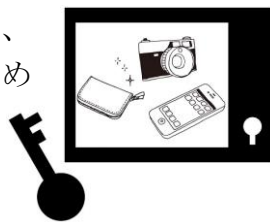
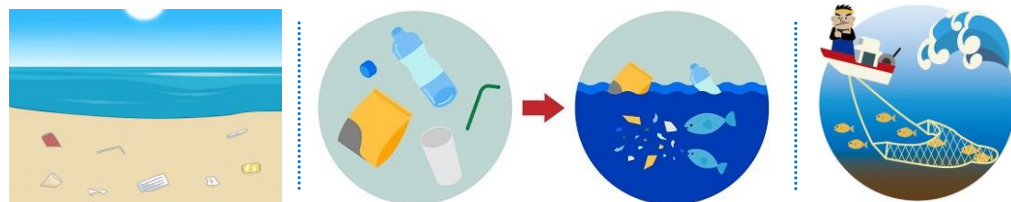
昨年は腰越海岸の砂を坂ノ下海岸へ約 600 m³搬出しましたが、砂の堆積量が多いため、砂が堆積しないように砂防柵の位置の工夫を求めるとともに、腰越海岸から江の島までの間で砂を撒きならすことについて、県と協議を始めていただきました。また浸食が進んでいる所につきましては、県が今年度 1, 200 m³規模の養浜事業を計画しています。

・腰越海水浴場、海の家がなければコインロッカー設置を要望

昨年の腰越海水浴場は海の家の出店がなく、観光客数も一昨年より約 6, 100 人少ない 12, 100 人でした。波音が聞こえる静かなビーチのためか、自分たちでテントを建てたり、家族連れの姿を多く見かけましたが、海に訪れる方々にとって、着替えや荷物の置き場がないと困ってしまいます。海の家があれば更衣室やコインロッカーを提供する海の家もありますので利用できますが、ない場合には、必要だと思います。特に荷物は貴重品も含まれるため海水浴客の防犯上の観点からコインロッカー等の設置を要望いたしました。

・海中ごみの問題と対策

海のごみは海岸の美しい景観を台無しにするだけでなく、海の生き物にも悪い影響を及ぼし、漁業への被害も発生しています。そして、「世界の海に漂うプラスチックごみの量は、2050 年までに海に棲む魚の量を上回る」と言われており、世界的に深刻化しています。



鎌倉市は海岸に漂着したごみや海岸清掃のごみは処理していますが、海中ごみの積極的な回収には至っていません。また、近隣自治体も海中ごみを回収している事例はないとのこと。

しかし、国では 5 月 31 日に策定した『海洋プラスチックごみ対策アクションプラン』において、補助金等を活用して漁業者が操業時に回収した海中ごみを県や市町村が連携して処理を推進することが盛り込まれました。そのため、協力していただける範囲で漁業者や関係機関と連携をしていき、海中ごみの処理対策を鎌倉市がスタートし好事例として広がっていくように求めたところ、市長からは課題等はあるが積極的に取り組んでいきたいとのご答弁をいただきました。



腰越漁港では「海中ゴミ専用」のごみ箱を設置し、海の美化に取り組んでいただいております。

●運転免許証返納とサポートについて

買い物や通院などの移動手段や運転そのものを楽しみが、「車の運転をやめる」という決断は、容易ではありません。高齢ドライバーが安全に運転を続けるためのサポートと最終的に返納することになった時のサポートについて、質問をしました。

【運転免許証自主返納者数】

年別(平成)	26年	27年	28年	29年	30年
神奈川県	12,910人	18,447人	26,724人	32,347人	26,070人
鎌倉市	398人	489人	678人	809人	768人

・自主返納者に多い高齢者ドライバーに対する取り組み

- ・ 70 歳以上の高齢者は免許証更新の際に高齢者講習受験の義務付け
- ・ 交通安全教室や家族から運転免許証の継続等の相談対応
- ・ 交通安全に係る街頭によるキャンペーンなどにより周知・啓発

・免許証返納者へのサポート事業について、新たな事業の実施を検討

平成 25 年まで実施していた高齢者への割引乗車証等の購入事業では一人当たり 2, 000 円を補助しておりました。免許証を返納した後の不安をなくしていけるようにサポート事業の優先度を上げていただくよう求めたところ、市長より財政的負担も考慮しながら実施に向けて検討していきたいとの前向きなご答弁をいただきました。